

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/1	50001	日本赤十字社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血液	日本	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMeticLifeScienceInc. Homepage.2004.8.3	PRDT社とMacoPharma社が選択的にプリオン蛋白を吸着するプリオン蛋白を吸着するプリオン除去フィルターを開発し、2005年に欧州で上市することを目標とする。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2004;364(9433):529-31	現在使われている市販の白血球除去フィルターによる血液製剤からの白血球除去により、TSE感染因子が42%除去されたが、感染因子の除去は不十分である。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of General Virology 2004;85(Pt9):2727-33	PrP ^{Sc} をエンコードする対立遺伝子をホモ接合に持つ羊は、スクレイピー抵抗性であると考えられていたが、小脳、延髄間部、前頭皮質、脳幹にPrP ^{Sc} 蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet 2004;364(9433):527-9	腹部大動脈瘤破裂により死亡した高齢者の剖検により、英国で輸血による感染の疑われる2例目のvCJD感染症が報告された。神経症状はなく、脳や脊髄、扁桃、筋肉等からはPrP ^{Sc} 検出されなかったが、脾臓に蓄積が認められた。また、プリオン蛋白遺伝子のコドン129番が、MV型へのヘテロ接合体であった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Irish Blood Transfusion Service 2004年10月31日	アイルランド輸血サービスはvCJD伝播リスク低減のため、英国潜在歴や手術歴等に新たな供血制限を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMed20041124-0040(AFP記事11月23日)	フランスで9例目となるvCJD患者の頻回献血が報告された。該当血液は既に使用されている種、受血者の追跡調査を発表した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science 2004;306(5702):1793-6	129位のアミノ酸がバリニンであるヒトプリオン蛋白質は変異型クロイツフェルトヤコブ病(vCJD)の発現を阻止する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004;24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC newsletter 2004年12月17日	オランダは血液を介したvCJD伝播への懸念から2004年12月9日、供血者に関する新たな禁止措置を実施することを発表した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050129-0060(BBC News 1月28日)	フランスのヤギが狂牛病検査の結果、陽性であることが判明した。これは、ウシ以外の食用動物が牛海綿体脳症(BSE)に感染した初めての事例である。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2004年8月20日	中国の複数の地域の農場においてブタが、高病原性鳥インフルエンザウイルスH5N1株に感染していることが示された。
											鳥インフルエンザウイルス	Science 2004;306(5694):241	高病原性鳥インフルエンザAに抵抗性とされる飼いネコに対し鳥インフルエンザA(H5N1)型ウイルス感染が成立した。
											鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2005年12月30日	高病原性鳥インフルエンザによる感染がベトナムで拡大している。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											A型肝炎	AABB ASSOCIATION BULLETIN#04-08	米国血液銀行協会(aabb)は、血液採取施設に対してA型肝炎ウイルス(HAV)流行時に地方自治体の保険当局が行う具体的な措置に従って供血延期措置を実施するよう勧告した。
											HIV	The New England Journal of Medicine 2004;351(8):760-68	血清学的検査陰性献血者の「米国献血者に対するミニプール核酸増幅検査の結果、年間約5件のHIV-1、また、約56件のHCVを検出した。
											B型肝炎C型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(2):216-20	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HVC感染の約11.5%はビューティートリートメント(理容室の髭剃りや刺青等)による感染である。
											B型肝炎	Hepatology 2004;40(5):1072-7	カナダの都市部で血液透析を受けている成人患者のoccultHBV(B型肝炎表面高原陰性)、HBV-DNA陽性)保有率は3.8%(241名中9名)であり、ほとんどがウイルス量は低く、sG145R変異体の保有率が高かった。
											B型肝炎	ABC newsletter 2004年10月22日	FDA血液製剤諮問委員会は、HBc抗体陽性者に新たな検査方法を加え献血者のエントリーを可能とするよう勧告した。
											B型肝炎	American Society of Hepatology46th Annual Meeting2259	B型肝炎の既往症を有する14名(HBs抗体陽性)の患者に対して実施された同種造血幹細胞移植では、HBVが再活性化しているリパセロコンバージョンとなる可能性が示された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											日型肝炎C型肝炎	Vox Sanguinis 2005;88(1):10-6	日本の献血者においてNATにより検出されたハイリスクドナーはHBV,HCV双方とも主に若年者で、入院患者とは異なるgenotypeの分布を有する。HBVの稀なgenotypeHが日本で始めて発見された。本調査結果は若年層にHBV,HCVが広がっていることを反映しているとの報告である。
											E型肝炎	J of Medical Virology 2004;74(4):563-72	透析を受けている患者のE型肝炎ウイルス罹患率について
											E型肝炎	ProMed20041129-0060(Daily Yomiuri 11月28日)	ブタ肝臓を摂取した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											E型肝炎	肝臓2004:45(Suppl3)日本肝臓学会東部会講演要旨No117	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
											ウエストナイルウイルス	ABC newsletter 2004年11月5日	FDAはWNVに対する供血延期期間を28日から56日に拡大することを勧告した。
											ウエストナイルウイルス	ProMed20050125-0070(ウイルス学生物工学研究センター-Dr. Valery B.Loktev 1月24日)	ウエストナイルウイルス(WNV)が現在ロシア極東地域で循環していることが確認された
											ウイルス感染	The Lancet 2004;364(9437):869-74	2003年、南インドでの小児急性脳症による183名の死亡原因がチャンディブラウイルスと同定された。
											デング熱	Clinical Infectious Diseases 2004;39(6):56-60.	顔面にデング熱患者の血液飛沫を受けた医療従事者が、同ウイルスに感染した。
											ニパウイルス	ProMed20041123-0030(The Independent Bangladesh) Indendependent.Bangladesh, 11月21日	ニパウイルス感染患者からのヒト-ヒト感染が疑われる死亡症例が報告された。
2005/4/1	50002	日本赤十字社	乾燥ペプリン処理人免疫グロブリン	ペプシン	ブタ胃	米国	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	WHO/CSR,Influenza 2004年8月20日	中国の複数の地域の農場においてブタが、高病原性鳥インフルエンザウイルスH5N1株に感染していることが示された。
2005/4/1	50003	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス摂取家兔炎症皮膚抽出液	日本	有効成分	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/1	50004	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス採取家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	ウシ乳	ポーランド、中国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/1	50005	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス採取家兔炎症皮膚抽出液	カゼイン性ペプトン	ブタ蹄臓	日本、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/1	50006	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス採取家兔炎症皮膚抽出液	漿尿膜	発育鶏卵	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/1	50007	日本臓器製薬株式会社	ワクシニアウイルス採取家兔炎症皮膚抽出液	ウサギ皮膚	ウサギ	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/4	50008	伊藤ライフサイエンス株式会社	パルナパリンナトリウム	パルナパリンナトリウム	ブタ腸粘膜	アルゼンチン	有効成分	有	無	無	ウイルス感染	ProMed20040917-0010(オーストラリア農業省)	西チモールでブタおよびニワトリが原因不明の大量死
											炭疽	ProMed20041010-0010(イタリア炭疽菌検査室)	Basilicata州における最新の流行が発生し、この事例では、炭疽菌が分離されブタ症例が確認された。
											E型肝炎	1.食安監発第1129001, 2004年11月29日付 2.厚生労働省ホームページ http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html , http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/kanshi/041129-1.html 3.IDWR2004.11.15~21	E型肝炎に関するQ&Aと情報
											口蹄疫	ProMed20050123-0080(Yahoo NZ)	9年ぶりにフィリピンでブタにおける口蹄疫が根絶された。
											ニパウイルス	ProMed20050130-0010 (New Straits Times 1月29日)	Malacca州の農場で発生した120頭以上のブタ大量死原因はニパウイルスや豚コレラではなかった。
											ウイルス感染	ProMed20050216-0410 (India News 2月24日)	Taj市において100頭以上のブタが大量死したが、原因は不明である。
2005/4/4	50009	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生麻しんワクチン 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン	胚初代培養細胞	ニワトリ	日本、アメリカ、メキシコ	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/4	50010	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥ガスエソウマ抗毒素 乾燥ガスエソウマ抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥ボツリヌス抗毒素	ウマ免疫グロブリン	ウマ血液	製造なし	有効成分	無	無	無			
2005/4/4	50011	財団法人 化学及血清療法研究所	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子複合体 乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	ヘパリンナトリウム	ブタ小腸粘膜	中国、フランス、アメリカ、カナダ	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	Emerging Infectious Diseases 2004;10(12):2156-60	米国においてブタから七面鳥へのH3N2インフルエンザウイルスの異種間伝播が確認された。
2005/4/7	50012	ニプロファーマ株式会社	ヘパリンナトリウム ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ブタの小腸粘膜	中国、アメリカ、カナダ、オーストラリア	有効成分	無	無	無			
2005/4/7	50013	武田薬品工業株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	ウシ血液	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/7	50014	武田薬品工業株式会社	乾燥弱毒生風しんワクチン	ウサギ腎細胞	ウサギ腎臓	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/7	50015	大洋薬品工業株式会社	ヘパリンナトリウム	ヘパリンナトリウム	ブタ	中国	有効成分	有	無	無	E型肝炎	肝臓 2004;45(12):688	ブタ肝臓を接種した6名が、E型肝炎ウイルスに感染し、うち1名が劇症肝炎で死亡したと2004年11月27日に公表された。
2005/4/8	50016	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきワクチン 破傷風トキソイド	ペプトン	ブタの胃	日本またはアメリカ	製造工程	有	無	無	E型肝炎	ウイルス 2004;54(2):243-8	豚、猪、鹿の肝臓からHEVが検出されており、E型肝炎発生原因を考えられる。
2005/4/8	50017	デンカ生研株式会社	インフルエンザHAワクチン インフルエンザワクチン	尿膜腔液	ニワトリの受精卵	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエンザウイルス	食品衛生研究 2004;54(7):21-4	鶏卵(卵黄)中の鳥インフルエンザウイルスの熱抵抗性に関する基礎研究

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/8	50018	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 破傷風トキソイド	ハートエキス	ウシの心臓	ニュー ジーランド	製造 工程	無	無	無			
2005/4/8	50019	デンカ生研株式会社	ワイル病秋やみ混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン コレラワクチン	ポリペプトン	ウシの乳	中国又は ポーランド	製造 工程	無	無	無			
2005/4/8	50020	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン ジフテリアトキソイド	カザミノ酸	ウシの乳	ニュー ジーランド 又はオー ストラリア	製造 工程	無	無	無			
2005/4/8	50021	デンカ生研株式会社	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降破傷風トキソイド 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン ジフテリア破傷風混合トキソイド 沈降精製百日せきワクチン 百日せきワクチン ジフテリアトキソイド 破傷風トキソイド コレラワクチン	スキムミルク	ウシの乳	日本又は アメリカ	製造 工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/8	50022	デンカ生研株式会社	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン	ウシ血清	ウシの血液	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50023	デンカ生研株式会社	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	マウス脳	マウスの脳	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50024	デンカ生研株式会社	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	ラクトアルブミン水解物	ウシの乳	ニュージーランド 又はオーストラリア	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50025	デンカ生研株式会社	百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン 百日せきワクチン	ヒツジ血液	ヒツジの血液	製造中止	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50026	デンカ生研株式会社	ウイルス病秋やみ混合ワクチン	ウサギ血清	ウサギの血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50027	デンカ生研株式会社	日本脳炎ワクチン	ウシ胎児血清	ウシ胎児の血液	アメリカ	製造工程	無	無	無			
2005/4/8	50028	ニプロファーマ株式会社	塩化第二鉄・硫酸亜鉛配合剤 コンドロイチン硫酸ナトリウム・サリチル酸ナトリウム	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの軟骨	米国	有効成分添加物	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ 16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/8	50029	宇治製薬株式会社	コンドロイチン硫酸コロイド	コンドロイチン硫酸ナトリウム	牛の軟骨	米国	添加物	無	無	無			
2005/4/11	50030	日新製薬株式会社	塩化マンガン・硫酸亜鉛配合剤	コンドロイチン硫酸ナトリウム	ウシの気管	アメリカ合衆国、カナダ、ウルグアイ、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランド	添加物	無	無	無			
2005/4/12	50031	わかもと製薬株式会社	ウロキナーゼ	人血清アルブミン	人血液	日本	添加物	有	無	無	ウエストナイルウイルス	CDC 2005年1月11日	アメリカでは西ナイルウイルス感染が増加の傾向にある。アメリカ以外でも感染報告が散見される。
											HIV	AABB Weekly Report 2004; 10(35)	インド保健省によると、現在のインドにおけるAIDS症例の3~4%が輸血を介して伝播された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											HIV	The Weekly Epidemiological Record 2004;79(50)	WHOおよびUNAIDは2004年末でのHIV/AIDS感染者の世界的状況について述べている。HIV/AIDS流行により、2004年に約500万(430万～640万)人がHIVに感染し、約300万(280万～350万)人が死亡している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Medical News Today 2004年11月3日	変異型クロイツフェルト・ヤコブ病(vCJD)の病因である感染性の異常プリオンが、輸血によって伝播される可能性を示唆する証拠が増えている。
											ブドウ球菌感染	CDC/MMWR 2005;54(07);168-70	2004年に血小板輸血に関連した致死的な敗血症2症例について。
											ウエストナイルウイルス	CDC/MMWR 2004;53(36)842-4	2004年、米国における輸血に関連した西ナイルウイルス感染が1例報告された。
											細菌感染	AABB Weekly Report 2004;10(32)	86才女性が、稀な種類の細菌が含まれた赤血球の輸血を受けた後に死亡した。
											HTLV	Commun Dis Public Health 2004;7(3):207-11	輸血を介して伝播されたHTLV確定例の2症例が報告された。
2005/4/12	50032	わかもと製薬株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	中国	有効成分	有	無	無	ウエストナイルウイルス	CDC 2005年1月11日	アメリカでは西ナイルウイルス感染が増加の傾向にある。アメリカ以外でも感染報告が散見される。
											HIV	The Weekly Epidemiological Record 2004;79(50)	WHOおよびUNAIDは2004年末でのHIV/AIDS感染者の世界的状況について述べている。HIV/AIDS流行により、2004年に約500万(430万～640万)人がHIVに感染し、約300万(280万～350万)人が死亡している。
2005/4/12	50033	アベンティスパスツール第一ワクチン株式会社	黄熱ワクチン	発育鶏胚	発育鶏卵	米国	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50034	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンボプラステン	ウシ又はブタの肺	ウシ: ニュージールランド、ブタ: デンマーク	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞社2004年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/12	50035	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンピン	ウシの血液	ニュージールランド、米国、オーストラリア	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞社2004年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/12	50036	財団法人 阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド	ブタ肉エキス	ブタの肉、脂肪	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50037	財団法人 阪大微生物病研究会	乾燥弱毒性麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒性麻しんワクチン 乾燥弱毒性水痘ワクチン 水痘抗原	トリプシン	ブタの膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50038	財団法人 阪大微生物病研究会	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン 乾燥弱毒性麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン 乾燥弱毒性おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒性麻しんワクチン 水痘抗原	コレステロール	ヒツジの毛	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50039	財団法人 阪大微生物病研究会	乾燥弱毒性麻しんおたふくかぜ風しん混合ワクチン 乾燥弱毒性風しんワクチン	SPFウズラ胚	SPF発育ウズラ卵	日本	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/12	50040	財団法人 阪大微生物病研究会	乾燥弱毒性水痘ワクチン 水痘抗原	MRC-5	ヒト胎児肺二倍体細胞	1966年に樹立したマスタセルバンクに使用したヒトの細胞株	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50041	財団法人 阪大微生物病研究会	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 百日せきジフテリア混合ワクチン 百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド ジフテリア破傷風混合トキソイド 成人用沈降ジフテリアトキソイド ジフテリアトキソイド 乾燥まむし抗毒素 乾燥ジフテリア抗毒素 乾燥破傷風抗毒素	ウマ血清	ウマの血清	米国	製造工程	無	無	無			
2005/4/12	50042	財団法人 阪大微生物病研究会	日本脳炎ワクチン 乾燥日本脳炎ワクチン	マウスの脳	マウス	日本	製造工程	無	無	無			
2005/4/13	50043	財団法人 化学及血清療法研究所	沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン 沈降精製百日せきワクチン	血液	ウシ血液	日本	製造工程	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	厚生労働省ホームページ H16年11月1日	BSE感染が確認された農場で死亡した94か月齢の牛から末梢神経組織の一部や副腎に異常プリオンたん白質が見つかったという報告である。
2005/4/13	50044	東菱薬品工業株式会社	ワクシニアウイルス採取家兔炎症皮膚抽出液	ワクシニアウイルス採取家兔炎症皮膚抽出液「トーピン」	ウサギ皮膚	中華人民共和国	有効成分	有	無	無	野兔病	CDC/MMWR 2005;54(07):170-3	2001-2004年の間にワイオミング州でヒトでの野兔病感染症例報告が増加した。
2005/4/13	50045	東菱薬品工業株式会社	パトロキソピン	パトロキソピン	蛇毒	ブラジル	有効成分	無	無	無			
2005/4/13	50046	東菱薬品工業株式会社		ウシ血清アルブミン	ウシ血清	アメリカ	製造工程	有	無	無	原虫、肺炎、レプトスピラ症	Veterinary Record (VET. REC.) (United Kingdom) 28 AUG 2004, 155/9(255-258)	・コクシジウム症の大きな増加が確認された ・子牛に肺炎(細菌性、RSウイルス及びパラインフルエンザ3型)の発症の増加が確認された ・幼牛にLeptospira Hardjoの発症の増加が確認された

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											原虫感染、サルモネラ	Veterinary Record (VET. REC.) (United Kingdom) 02 OCT 2004, 155/14 (409-412)	・8月にNeospora caninumの深刻な流行の発生が報告された ・サルモネラ症例の急増が報告された
											炭疽	Canadian veterinary journal 2004;45(6):516-7	2004年1月中旬に牛の突然死が170頭に発生した。その後も突然死が続いた。開業医と州及び国の研究機関で連携し、調査した結果、炭疽菌によるものであることが判明した。
											寄生虫感染	Acta Tropica (ACTA TROP.) (Netherlands) 2004;92(3):231-6	メキシコで初めて、牛由来のエキノコックス症に感染した患者が報告された。
											クローン病	Medecin Veterinaire du Quebec 2004;34:90-2	Mycobacterium avium subsp paratuberculosis (MAP)がクローン病の原因となる根拠を述べて感染経路について考察している。
											クローン病	The Lancet 2004;364:396-7	Mycobacterium avium subsp paratuberculosis (MAP)とクローン病との関連性。
											クローン病	The Lancet 2004;364:1039-44	Mycobacterium avium subsp paratuberculosis (MAP)がクローン病の原因となる根拠を支持するデータが得られたことを述べて感染経路について考察している。
											エボラ出血	Emerging Infectious Diseases 2005;11(2):283-90	2001～2003年にガボン共和国及びコンゴ共和国でヒトで流行したエボラ出血熱について、野生動物のエボラウイルスによる死体を採取し、検査した結果、類人猿のみでなく、小型レイヨウ(牛科)であるduikerからもエボラウイルスが検出された。
2005/4/13	50047	株式会社ベネシス	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	アプロチニン液	ウシ肺	米国、ウルグアイ	有効成分	無	無	無			
2005/4/13	50048	株式会社ベネシス	乾燥濃縮人血液凝固第ⅩⅢ因子	マウスモノクローナル抗体	マウス脾臓細胞と骨髓腫細胞のハイブリドーマ	イギリス	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/13	50049	株式会社ベネクス	乾燥抗HBs人免疫グロブリン ポリエチレングリコール処理抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs抗体	人血液	米国	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting, UK/February 2003	本文書は、英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の勧告をもとにして英国保健省から委託を受けた英国のコンサルタント会社のDet Norske Veritas(DNV)が、vCJDの伝達性病原体から血液及び血液製剤のレシピエントを守るために、vCJD発症者からの血液及び血液製剤のレシピエントの特定とリスク評価を行い、さらにリスク削減を目的とした手段の有効性を考察したものであり、2003年2月に最終報告として発行(DNVのHPIには2004年4月に公表)された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News 2004年11月10日	アイルランド共和国において、英国滞在歴のないvCJD患者が初めて確認された。この患者は輸血を受けたことはないし、供血したこともない。アイルランド共和国では以前にvCJDと診断された症例があるが、この患者はある時期英国に滞在していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Scienceexpress report 2004年11月11日	BSE由来プリオンでのヒトへの1次及び2次感染は、プリオンソース及びレシピエントの遺伝型の如何により、孤発性CJD様表現型もしくはvCJDに加えてさらに新規の表現型をもたらす可能性があり、また、ヒトプリオン病の患者全てをPrP ^{Sc} のタイプに分類したサーベランスを行なうことによつて、BSE曝露パターンやvCJDプリオンの病原性ソースに関連した新規のPrP ^{Sc} タイプや特定のPrP ^{Sc} サブタイプの相対的頻度の変化を早期に発見できるであろうとする報告である。
											サルパルボウイルス	J of Infectious Diseases 2004;190(11)1900-7	サルのパルボウイルス病が潜在的な人畜共通の伝染病と認識することに関する研究。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	J of Neuroscience 2004; 24(50):11280-90	ウシ海綿状脳症(BSE)の代用マーカーとして用いられているスクレイピー・プリオン(PrP ^{Sc})がin vitroにおいてフェリチンと結合し、これがヒト腸上皮細胞バリア突破機序に関連することを示した研究。
											A型肝炎	AABB Weekly Report 2004;10(44) 3	米国血液銀行協会(AABB)は会員に対し、共通の感染源に由来するA型肝炎ウイルス(HAV)の流行に曝露された可能性のある供血者の取扱いについて、HAVに最後に曝露された可能性がある日から120日間供血停止することを勧告する。また、供血者がHAVに曝露されている可能性がある場合には当該製品の回収の勧告について審議する。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											鳥インフルエンザウイルス	RIVM rapport 630940003. Bilthoven: RIVM	2003年、オランダのH7N7鳥インフルエンザアウトブレイクコントロール期間内のリスクファクター、健康、福祉、ヘルスケアニーズと予防措置に関する調査結果。調査対象となった養鶏場従業員関係者の約千人が鳥インフルエンザに感染していた。調査結果の主な内容:①抗ウイルス薬のオセルタミビルは感染防御効果が見られたが、マスクやゴーグルでは見られなかった。②発症した453人の主要症状は結膜炎で、そのうち89人から鳥インフルエンザウイルスが検出され、そのうち3人は家禽との接触はなく、感染した人との接触のみであった。③感染した家禽業者と接触した家族の59%で抗体が検出された。④流行中感染した家禽と接触した500人のうち約50%に抗体が検出された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Sciencexpress report 2005;307:1107-10	腎臓、脾臓又肝臓に5つの炎症を有するマウスにプリオンを投与したところこれらの臓器にプリオンの集積が認められたが、リンフォトキシン- α 又はその受容体を欠いたマウスの炎症臓器にはプリオンは集積しなかった。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(4):333-40	鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスによるヒト-ヒト感染の可能性が強く示唆された事例。
											デング熱	Nephrology Dialysis Transplantation 2005; 20(2)447-8	デング熱の既往のあるドナーから、生体腎移植を受けたレシピエントが、腎移植後5日目に発熱を初発症状とする劇症のデング熱を発現したとの報告。
											HIV	The New York City Department of Health and Mental Hygiene Press Release 11 Feb 2005	抗ウイルス剤治療歴のないニューヨーク在住者が高度薬剤耐性の新型HIV株に感染し、急速にAIDSに進行した症例が発見された。
											鳥インフルエンザウイルス	The New England Journal of Medicine 2005;352(7):686-91	H5N1インフルエンザの臨床スペクトルに属する疾患について、これまで考えられていた範囲よりも、より広い範囲にわたるものであることが示唆された事例。
											ニパウイルス	Health and Science Bulletin,2(2),2004	2004年2月19日～4月16日にバングラデシュ Faridpur地区の住民36人がニパウイルスに感染し、27人が死亡した。患者23人の血清中にニパウイルスのIgM抗体が確認され、患者数名の喉拭き取りサンプルからニパウイルスRNAが検出された。濃厚接触のあったこれらの患者の家族間などに飛沫感染によると思われるヒトからヒトへのニパウイルス感染拡大が見られた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ハンタウイルス	Microbiology and Immunology 2004;48 (11):843	2000年～2003年の日本各地におけるげっ歯類のハンタウイルス感染についての疫学調査結果。
											HTLV	The New York Times, February 26, 2005	アメリカの科学者は2005年2月25日、AIDSを起こすウイルスと同じレトロウイルスに属する2つの新しいヒトのウイルスを発見したと述べた。これらウイルスは、サル及び他の霊長動物を狩猟するカメルーンの地方の人々に見出され、狩猟、食肉化、ペットとして飼ったときに咬まれたり引っ掻かれたりして、血液を介して伝播した可能性がある。第12回Annual Retrovirus Conferenceにおいて公表された。これらのレトロウイルスをHTLV-3及びHTLV-4と名づけたが、従来のHIVやHTLVと似ているのかまだ判っておらず、ヒトにどの程度伝播するのかカメルーンのヒト4000人について更に検査する計画である。
2005/4/14	50050	テルモ株式会社	ヘパリンナトリウム	ヘパリン	豚小腸粘膜	米国、中国	有効成分	無	無	無			
2005/4/14	50051	高田製薬株式会社	ウリナスタチン	ウリナスタチン	ヒト尿	中国	有効成分	無	無	無			
2005/4/15	50052	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ブタラドウォーター	ブタ脂肪	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50053	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタ胃液	不明	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50054	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え)	プリマトンHS/UF	ウシ脾臓、心臓、ウマ脾臓、豚肉 ブタラドウォーター	ウシ:米国、ウマ:米国、カナダ、ブタ:米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50055	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え) レノグラスチム(遺伝子組換え) エポエチン ベータ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	不明注) 原本参照	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50056	中外製薬株式会社	トラスツズマブ(遺伝子組換え) ストレプトコックスピオゲネス(A群3型) Su株ペニシリン処理凍結乾燥粉末	パンクレアチン	ブタ膵臓	1.米国、カナダ 2.日本、米国、カナダ、フランス	製造工程	無	無	無			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
2005/4/15	50057	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ (遺伝子組換え)	ブタインスリン	ブタ膵臓	米国、カナダ	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50058	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ (遺伝子組換え)	DMEM/F12	ウシ乳	ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50059	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え) エボエチン ベータ (遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血清	米国、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無	無	無			
2005/4/15	50060	中外製薬株式会社	レノグラスチム(遺伝子組換え)	ヒトトランスフェリン	ヒト血漿	不明(注) 原本参照	製造工程	無	無	無			
2005/4/18	50061	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺	ベルギー、スペイン、フランス、イタリア、リトアニア、ポーランド、スカンジナビア、	製造工程	無	無	無			
2005/4/27	50062	セローノ・ジャパン株式会社	ソマトロピン(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血液	アメリカ、オーストラリア、カナダ	製造工程	有	無	無	ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年10月1日号 Vol.17 No.40	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 6報告終了日-2004年9月21日 新規アウトブレイク-Texas州などの合計32農場 新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて 疑い例396例, 症例13例 "
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月12日号 Vol.17 No.46	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 7報告終了日-2004年10月26日 新規アウトブレイク-Colorado州Adams群などにおける合計53農場(ニューメキシコまたはテキサス州において2004年9月22日~2004年10月26日に新たな症例は確認されていない)新規アウトブレイクの動物総数-ウシにおいて疑い例792例, 症例10例 "

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年11月26日号 Vol.17 No.48	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 8報告終了日-2004年11月16日 新規アウトブレイク-コロラド州, ニューメキシコ州における計33件2004年9月22日~2004年11月26日にテキサス州における症例は検出されていない。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例1176例, 症例12例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey 病原/感染源-不明拡大様式-不明
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2004年12月10日号 Vol.17 No50	米国における水疱性口内炎Follow-up report no9今回報告終了日-2004年11月30日新規アウトブレイク-NewMexico州における1件, Colorado州における2件。新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例15例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey病原
											ウシ膿ほう性口内炎ウイルス感染	OIE 2005年1月7日号 Vol.18 No.1	米国における水疱性口内炎Follow-up report No. 10報告終了日-2005年1月6日 新規アウトブレイク-コロラド州における1件 新規アウトブレイクにおける動物数-コロラド州:ウシにおいて疑い例250例 病因-水疱性口内炎ウイルスタイプNew Jersey
											BSE	ProMed20041231-0020(Canadian Press)	カナダ食品検査局は、BSE疑い症例が検知されたと発表。食品検査局では、予備的な検査結果は、12月29日に判明したとし、検査は問題の個体が歩行困難と確認されたのを受けて実施されたと加えた。今回の検査結果は最終的ではなく、同局は、複数のスクリーニング検査で陽性反応が得られたが、陽性となった個体の組織は、ヒトの食糧や家畜の肥料としては使用されていないとしている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用	感染症(PT)	出典	概要
											BSE	ProMed20050103-0020(カナダ食品検査局)	疑い動物でBSE感染の診断確定、調査が進行中。カナダ食品検査局(CFIA)は本日[2004年1月2日]、アルバータ州の高齢の乳牛が検査で牛海綿状脳症(BSE)陽性となったことを確認した。感染が確認された個体は、1997年の飼料規制導入以前の1996年に誕生した。このウシは、飼料規制以前に汚染された飼料から感染したと考えられている。BSE確定症例のいかなる部分も、ヒトおよび動物飼料の食物連鎖環に入っていない。この発見は、食品安全上の危険性増加にはあたらない。
											BSE	ProMed20050109-0020(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050112-0020(CFIA)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20050126-0070(OIE)	カナダの全国(BSE)サーベイランス計画により、アルバータ州の7歳未満の個体で、ウシ海綿状脳症(BSE)感染を確認したと発表した。
											BSE	ProMed20041119-0010 (Associated Press)	新たなBSE疑い例。農務省当局は11月18日、米国で2例目となるBSE症例が確認される可能性がでたと発表。
											結核	ProMed20050208-0070 (ネブラスカ州農業局)	最近ネブラスカ州で発見された牛結核(TB)症例(屠殺時陽性確認)の調査に積極的な取り組み。
2005/4/18	50063	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	ウマの血漿	フランス	製造工程	無	無	無			
2005/4/18	50064	アベンティスファーマ株式会社	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胎盤組織	ヒト胎盤	フランス	製造工程	無	無	無			
2005/4/18	50065	伊藤ライフサイエンス株式会社	日局トロンビン	トロンビン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	有	無	無	狂犬病	1.ProMed20041026-0040(Regnum allnews)	ロシアで狂犬病が野生動物間で感染拡大し、感染した子犬から受傷した子ウシが発病した。